

令和3・4年度 複合構造委員会 第4回幹事会 議事録

日 時：2021年（令和3年）11月9日（火）14:00～17:10

場 所：土木学会 A会議室+Zoom

出席者：松本委員長，牧副委員長，齋藤（隆）幹事長，大久保幹事，大山幹事，川端幹事，北根幹事，斉藤（成）幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，皆田幹事，山本幹事，岡崎事務局

配布資料：

- 幹4-0 令和3・4年度複合構造委員会第4回幹事会議事次第
- 幹4-1 令和3・4年度複合構造委員会第3回幹事会議事録（案）
- 幹4-2 メール審議の報告
- 幹4-3 令和3年度委員会予算執行状況
- 幹4-4 令和4年年度事業計画・予算調書
- 幹4-5 土木学会功績賞の推薦について
- 幹4-6 令和3年度田中賞推薦について
- 幹4-7 土木学会国際貢献賞等の候補者推薦について
- 幹4-8 令和4年度全国大会共通セッション・特別セッションテーマの募集
- 幹4-9 令和3年度年次学術講演会（共通セッション）報告
- 幹4-10 第14回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 幹4-11 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 幹4-12 複合構造の継続教育
- 幹4-13-1 出版関連報告
- 幹4-13-2 絶版図書の処分およびデジタルアーカイブについて
- 幹4-14-1 新規小委員会の設置に関して
- 幹4-14-2 前回幹事会での新規小委員会の設置に関する意見募集についての討議メモ
- 幹4-15 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹4-16 H108 土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会
- 幹4-17 H215 合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹4-18 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹4-19 H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹4-20 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 幹4-21 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹4-22-1 令和3・4年度複合構造委員会第2回委員会議事次第(案)
- 幹4-22-2 第2回委員会での上田先生の特別講演について
- 幹4-23 第51回 日本産業技術大賞について

議事内容：

1. 委員長挨拶

松本委員長より，挨拶がなされた。

2. 令和3・4年度複合構造委員会第3回幹事会議事録(案)の確認（資料 幹4-1）

山本幹事より，資料に基づき，説明があり，修正なしで承認された。

3. メール審議の報告（資料 幹4-2）

齋藤幹事長より，複合構造委員会のメール審議の結果，H108 土木建造物の300年暴露プロジェクト小委員会の委員追加（3名）について，異論なく承認されたことが報告された。

4. 令和3年度委員会予算執行状況（資料 幹4-3）

齋藤幹事長より，資料に基づき，令和3年度委員会予算執行状況の説明があった。

- ・現状では，予算執行が少ない状況であることが報告された。
- ・今後，対面活動等が増えると予想されるので，各小委員会で予算を適宜執行してほしいとのことであった。

5. 令和4年度事業計画と予算調書について（資料 幹4-4）

齋藤幹事長より，資料に基づき，令和4年度事業計画と予算調書の説明があった。

- ・令和4年（2022年）度の事業計画，予算要求調書は，例年通りの講習会等のイベントを予定して，計画し，作成しているとの報告があった。

6. 土木学会功績賞の推薦について（資料 幹4-5）

齋藤幹事長より，資料に基づき，土木学会功績賞の推薦の説明があった。

- ・推薦依頼は，委員長あてに届いている。昨年度，上田多門先生（深セン大学教授）を推薦する予定であったが，手続きの都合で提出できなかった。
- ・申し送り事項として，上田先生を推薦したいとの提案があり，幹事会として了承された。経歴を含む推薦書については，旧所属の研究室，下村前委員長と連携して，委員長が作成を進めることとなった。
- ・申請締切は2022年1月20日であるため，提出書類は，幹事会内メールで確認することとなった。

7. 令和3年度田中賞推薦について（資料 幹4-6）

齋藤幹事長より，資料に基づき，令和3年度田中賞推薦の説明があった。

- ・田中賞の推薦について，幹事会では特に提案はなかったが，親委員会に打診することとなった。

8. 国際貢献賞等・国際活動奨励賞の候補者推薦について（資料 幹4-7）

齋藤幹事長より，資料に基づき，国際貢献賞等・国際活動奨励賞の候補者推薦の説明があった。

- ・各賞の推薦について，幹事会では特に提案はなかったが，親委員会に打診することとなった。

9. 令和4年度全国大会共通セッション申し込み（資料 幹 4-8）

齋藤幹事長より、資料に基づき、令和4年度全国大会共通セッション申し込みの説明があった。

- ・来年度の開催場所は京都大学であること、開催方法は対面の予定であることが示され、例年通りの内容で申し込むことが報告された。

10. 令和3年度全国大会・年次学術講演会の報告（資料 幹 4-9）

皆田幹事より、資料に基づき、令和3年度全国大会・年次学術講演会の報告があった。

- ・セッション座長より、スムーズな進行であったこと、質問がやや少なかったこと、質疑応答時は、質問者はカメラをオンとするのがよいとの意見があったことが報告された。
- ・事前に、点呼や音声の確認がないセッションでは、発表時に音声接続のトラブルが生じたとの報告があった。
- ・聴講者数の推移は、開催日程が影響するのかどうか、読めないところもあるが、来年度は対面開催の予定であるので、様子をみたいとの意見があった。

11. 第14回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（資料 幹 4-10）

仁平幹事より、資料に基づき、シンポジウムの準備状況の報告があった。

- ・建築学会が主催、土木学会が共催で、日程は11/25、11/26であること、投稿数は60編（土木33編）でほぼ例年通りであることが報告された。
- ・特別講演は、大垣先生（ものづくり大学）に依頼されていること、プログラムが確定し、その内容について報告があった。
- ・参加申込は11/17締切（建築学会 Web サイトでクレジット決済）である。齋藤幹事長より、委員へシンポジウム参加の案内をすることとなった。
- ・次回の実行WGは11/26（シンポジウム終了後）に開催され、優秀講演賞の選出を行う予定とのことであった。親委員会では、開催概要、優秀講演賞の報告を行う予定である。

12. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造（資料 幹 4-11）

櫻庭幹事より、資料に基づき、H005編集小委員会の準備状況について報告があった。

- ・第1回編集小委員会の報告が行われ、第9巻発刊までのスケジュールが確認された。
- ・展望論文（1編）の辞退があったこと、招待論文（1編）、H216、H219の小委員会報告は依頼済みであることが報告された。
- ・今後は、年に1編程度、展望論文または招待論文を掲載すること、展望論文は委員長経験者に限らず、複合分野の発展に貢献した方を対象に候補者を立てる方針とすることが報告された。
- ・今年度は、論文賞（土木学会論文賞、論文奨励賞）等への推薦なしとの報告があった。
- ・編集小委員会で、田中賞（論文賞）、吉田賞（論文賞）の推薦を含めることの要否が幹事会で議論された。各賞で論文の対象期間が異なるため、一度、整理して検討することとなった。

13. 複合構造の継続教育（資料 幹 4-12）

中村幹事より、資料に基づき、H006複合構造の継続教育小委員会の活動報告があった。

- ・11/8に第2回小委員会が開催され、各WGの活動報告、3つの講習会のコンセプトの審議があったことが報告された。

- ・複合構造セミナーのリハーサル（11/30）では、オンライン参加となる場合に備えて、委員長、副委員長も15時にオンラインで参加いただくことになった。なお、セミナー当日は、委員長、副委員長は、講堂で挨拶の予定であることが確認された。
- ・セミナーWGでは、来年（2022）度開催予定の参加型セミナーの開催に向けて、1月から検討に着手する予定との報告があった。
- ・eラーニングWGでは、今年度中に、複合構造の導入を複合構造委員会のWebサイトに公開することで準備を進めていること、その通読を幹事会に2月頃に依頼する予定との報告があった。複合構造の導入まではWebサイト公開とするが、それ以降は申込制によるオンデマンド配信の予定である。
- ・11/8の第2回小委員会の審議を踏まえ、3つの講習会のコンセプトについて、親委員会に報告する予定である。
- ・資料の中で、複合構造セミナーの杉浦先生の講演タイトルが2パターンあるとの指摘があった。確認の上、修正することとなった。

14. 出版関係報告・出版在庫図書処分・デジタルアーカイブなど（資料 幹4-13-1, 幹4-13-2）

櫻庭幹事より、資料に基づき、出版在庫図書処分・デジタルアーカイブなどの仕組みについて、報告があった。

- ・学会で販売される図書は、3年連続で在庫にほとんど変化がないと絶版となる仕組みで、各種指針（案）は、実務設計で引用されており、入手できないと問題が生じるため、対応を検討する必要がある。
- ・学会誌等で公開中の絶版図書は、学会会員からの申込期日（2022年1月14日）以降に残部があれば、希望団体に引き取り可能とのことであった。
- ・受託委員会で発刊された指針（案）（2件）は、絶版後の電子公開には対応していないこと、電子公開は絶版後の公開への同意が必要で、予め許可を取る必要があるとのことであった。
- ・2014年制定複合構造標準示方書の場合、現在、オンデマンド販売となっている。これは、紙版が完売していること、出版時にCD-ROM電子版発刊の許諾を取得していたことから、オンデマンド販売が可能であったとの報告があった。
- ・絶版後の電子公開は、図書館では対応していないため、各委員会で対応する必要があるとのことであった。
- ・櫻庭幹事より、絶版後の電子公開の許諾に必要な手続きを出版委員会に確認することとなった。
- ・最近の講習会はWeb開催がほとんどで、販促ができていない。例えば、オンライン講習会の休憩中にpptなどで販売図書の宣伝ができるとよいのではとの意見があった。

15. 新規小委員会の設置に関して（資料 幹4-14-1, 幹4-14-2）

齋藤幹事長より、資料に基づき、新規小委員会の設置に関して、整理された案が示された。

- ・企画WGの調査結果によるテーマ候補の14案が示され、小委員会の優先順位、小委員長候補等が議論された。
- ・案にしたがって、①複合構造の現状調査（牧副委員長）、⑩プレファブ・プレキャスト（内藤幹事）、⑬300年超長期暴露試験の実施（H108後継）を有力候補として新規委員会の立ち上げを検討することとなった。
- ・その他のテーマ候補案も、来年度以降、随時立ち上げを検討することとし、新規委員会の委員長・

幹事長の立候補等を打診することとなった。

16. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会 (資料 幹 4-15)

齊藤幹事より、資料に基づき、報告があった。

- ・示方書の骨子が固まりつつあり、親委員会では出版の方向で報告する予定とのことであった。
- ・具体的な執筆作業の再開にあたり、委員の所属を再確認し、改めて委嘱状を出すことを検討する。

(2) H108 土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会 (資料 幹 4-16)

大久保幹事より、資料に基づき、報告があった。

- ・メール審議を踏まえ、3名の委員の追加があったこと、材料グループに分かれて、実施方法を検討中であること、それを踏まえて12月に小委員会の開催予定(対面)とのことであった。

(3) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会 (資料 幹 4-17)

川端幹事より、資料に基づき、報告があった。

- ・10月末に報告書の初稿がほぼ完成したこと、11月末までに幹事団読合せ、修正を行う予定であること、さらに、来年1月に幹事会に報告書の通読を依頼予定であることが報告された。

(4) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会 (資料 幹 4-18)

仁平幹事より、資料に基づき、報告があった。

- ・報告書の印刷に向けて転載許可を取っている段階であること、今後、報告書の通読を幹事会へ依頼予定であることが報告された。

(5) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会 (資料 幹 4-19)

橋本幹事より、資料に基づき、報告があった。

- ・10/6に委員会を開催し、WGが随時開催されていることが報告された。

(6) H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会 (資料 幹 4-20-1, 幹 4-20-1)

大久保幹事より、資料に基づき、報告があった。

- ・9/16に講習会が開催(参加数:174名)されたこと、その収支について報告があった。

(7) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会 (資料 幹 4-21)

川端幹事より、資料に基づき、報告があった。

- ・9/29にウェビナーによる講演、10/13に第3回小委員会(ハイブリッド形式)の開催、12月中に第4回小委員会の開催予定であることが報告された。

17. 第2回委員会議事次第(案)および上田先生の講演について (資料 幹 4-22-1, 幹 4-22-2)

齊藤幹事長より、資料に基づき、報告があった。

- ・第2回委員会当日の議事次第(案)が示され、議事進行について了承された。

- ・終了委員会の活動成果報告は、H219の委員長へ20分程度で依頼することとなった。
- ・上田多門先生（複合構造委員会 初代委員長）が次期土木学会会長に内定され、今後、親委員会へのご参加が難しくなること踏まえ、特別講演（委員会後、1時間程度）をお願いすることとなった。参加者は、親委員会構成員だけでなく、小委員会構成員まで広げるが、複合構造委員会の関係者に限ることと、また、後日、各小委員会へ特別講演の案内の周知を依頼することとなった。

18. その他（資料 幹4-23）

齊藤幹事長より、資料に基づき、報告があった。

- ・日本産業技術大賞の推薦について、親委員会へ諮ることとなった。

牧副委員長より、閉会の挨拶がなされた。

以上
（記録：中村）